

心のケアにアート

大原美術館とAMDA協定

被災地で教室や鑑賞

などアートを活用し
心をケアするための包
括連携協定を結んだ。

不安を抱える被災者
や、災害現場で活動す
る医療従事者の健康維
持につなげる。

財団職員が被災地に
出向いて子どもらを対
象に絵画教室を開いた
り、現場の医師や看護
師を大原美術館に招
いて生きられるよう背
中を押したい」、佐藤
理事長は「被災者の苦
しみは言葉で表せない
ほど大きい。芸術の力
を借りて心を癒やす場
を提供できれば」と話
した。（小野祐香）

大原美術館（倉敷市
中央）を運営する大原

芸術財団（同所）と国

際医療ボランティアA

MDA（岡山市北区伊
福町）は19日、被災地



協定書を手にする大原代表理
事（左）と佐藤理事長

き、作品鑑賞でストレ
スを和らげたりするこ
とを想定している。詳
細は今後詰める。

倉敷市内で締結式が

あり、財団の大原あか
ね代表理事とAMDA
の佐藤拓史理事長が協
定書に署名。大原代表
理事は「医療によつて
救われた命が希望を持
つて生きられるよう背
中を押したい」、佐藤

理事長は「被災者の苦
しみは言葉で表せない
ほど大きい。芸術の力
を借りて心を癒やす場
を提供できれば」と話
した。（小野祐香）